

## 事業群評価調書(平成28年度実施)

基本戦略名	9 快適で安全・安心な暮らしをつくる	事業群主管所属	環境部自然環境課
施策名	(7) 人と自然が共生する地域づくり	課(室)長名	山本 麻衣
事業群名	③ 豊かな自然とふれあえる、人にやさしい公園施設づくり	事業群関係課(室)	

### 1. 計画等概要

#### 【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)】

##### 《長崎県総合計画チャレンジ2020 本文》

子どもたちが多様な自然を体験できる場所や機会を提供するとともに、高齢者が自然とのふれあいを享受できるバリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した公園施設を整備します。また、増加する外国人利用客をはじめ、多様なニーズに対応した情報発信を行います。

事業群指標	最終目標 (H32)	基準値 (H26)	実績 (H27)	達成率	【進捗状況の分析】
自然公園利用者数	14,896千人	14,320千人	14,525千人	—	近年、公園利用に対する社会のニーズが多様化し、より多くの人々が自然の豊かさを享受できるようにユニバーサルデザイン化の必要性が高まっており、公衆トイレの洋式化やバリアフリー化等を推進に取り組んでいる。平成27年度の自然公園利用者数は基準年(H26)と比較し増加している。
事業群の進捗状況					

#### 【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)の分析】

##### 《取組項目及び現状と課題》

###### i) 自然公園施設等の計画的整備の推進

- ・多様化する社会のニーズに適切に対応できるように公園計画の検討を行う。
- ・利用者が安全に快適に施設を利用できるように効率的、効果的な整備計画に基づき整備を行う。

###### ii) 人にやさしい施設への対応

- ・公園施設を適切に維持管理するため老朽化した施設の補修や巡視等を行い、公園利用者の安全を確保する。
- ・清掃活動を適切に実施し、快適な公園利用を維持する。
- ・少子高齢化が進む社会のニーズに対応したトイレの洋式化やスロープの設置等高齢者や障害者等も含めて、より多くの人々が自然とのふれあいを享受できる公園施設の整備を実施している。

###### iii) 多様なニーズに対応した自然体験情報の発信

- ・国内中高年層、韓国・欧米人をメインターゲットとして、世界遺産構成資産等や温泉などの興味地点に加え、トレッキングに適した九州自然歩道のルートマップなどの自然体験情報を作成しPRするとともに、HPの充実を図り、利用者に詳細な情報提供を行っている。

###### iv) エコツーリズムの推進と地域資源を活かした商品・サービスの提供

- ・地域の緑豊かな環境と生物多様性保全の取組をより多面的に推進するため、民間、NPO等の事業に対し補助を行っている。
- ・地域において、エコツーリズムを推進するための人材育成を行っている。

2. 27年度取組実績

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					事業の成果等	中核事業	
			H27実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	事業内容 (事業の実施状況)	指標	主な目標	H27目標	H27実績	達成率			
			H28計画	一般財源	人件費(参考)					H28目標	—	—			
取組項目 i	自然公園計画検討費		214	214	2,417	県内の優れた自然を享受する公園利用者及び地域住民	宍岐対馬国定公園において、利用計画の見直しの必要性について関係市と調整を行った。	活動指標	審議会(自然環境部会)回数(回)	数値目標なし	0	—	すぐれた自然風景地の適正な保護と利用の増進を図るため、公園計画の再検討を実施することにより、県内の自然公園の面積は県土の約18%を維持しており、生物の生息・飼育の場として生物多様性の保全に寄与している。	○	
	自然環境課		263	263	2,420			成果指標	自然公園面積(ha)	74,091	74,091	100%			
	西海国立公園リニューアル整備事業(公共)	(H28新規) H28-30	—	—	—	西海国立公園の優れた自然を享受する公園利用者	自然環境整備交付金を活用し、西海国立公園内の重要な施設を計画的に再整備を行う。	活動指標	自然公園施設整備箇所数(箇所)	—	—	—	—	○	
	自然環境課		54,200	75	—			成果指標	自然公園利用者数(千人)	—	14,525	—			
	自然公園等総合整備事業費	H23-	19,983	0	4,431	県内の優れた自然を享受する公園利用者	国立公園内の国直轄事業、国定公園内の交付金事業の対象とならない自然公園施設について、既存施設のリニューアル、新規箇所の整備を進めた。	活動指標	自然公園施設整備箇所数(箇所)	2	2	100%	公園施設のバリアフリー化が進み快適性が向上した。		
	自然環境課			9,210	65			4,436	成果指標	自然公園利用者数(千人)	13,700	14,525			106%
	九州自然歩道リニューアル整備事業(公共)	H26-28	18,944	10,420	—	九州自然歩道の利用者	九州自然歩道に設置している標識等の老朽化及び破損が全区間で散見され、利用に支障をきたしているため、自然環境整備交付金を活用し、3年間で計画的な再整備を行っている。	活動指標	自然公園施設整備ルート箇所数(箇所)	6	6	100%	歩道の案内・情報が適切に行われ、利便性が向上した。		
	自然環境課			20,338	11,186			—	成果指標	九州自然歩道利用者数(人)	297,022	303,148			102%
	取組項目 ii	自然公園施設補修費		9,959	3,759	8,862	県内の優れた自然を享受する公園利用者	既設の自然公園施設について、安全かつ快適な利用を図るため、維持補修を実施した。	活動指標	施設修繕箇所数(箇所)	5	6	120%	公園施設の不具合等が発見され次第速やかに補修を行うことにより、事故の予防に寄与した。	○
		自然環境課		18,084	2,584	8,065			成果指標	事故発生件数(件)	0	0	100%		
自然公園維持管理費			6,436	6,436	4,431	県内の優れた自然を享受する公園利用者	自然公園の保護管理、金泉寺山小屋の指定管理、県有施設数にかかる国有林野借上料及び清掃活動負担金等。	活動指標	清掃活動箇所数(箇所)	5	5	100%	適切な公園施設の利用に寄与した。		
自然環境課			6,444	6,444	4,436			成果指標	管理上の苦情件数(件)	0	0	100%			
雲仙公園維持管理費			22,566	1,736	10,473	国立公園雲仙の優れた自然を享受する公園利用者	雲仙国立公園内県有施設等の維持管理を実施した。	活動指標	雲仙公園内公衆便所清掃箇所数(箇所)	17	17	100%	適切な雲仙公園施設の利用に寄与した。		
自然環境課			22,879	1,406	9,678			成果指標	管理上の苦情件数(件)	0	0	100%			
宝原道路維持管理費			2,220	1,766	2,820	宝原道路利用者	公園車道宝原道路において、安全施設等の改修を行い利用車両の安全を図った。	活動指標	改修箇所数(箇所)	1	1	100%	公園車道宝原道路において、老朽化したガードケーブルの改修を行い利用車両の安全が図られた。		
自然環境課			308	0	2,420			成果指標	管理上の苦情件数(件)	0	0	100%			
花のある街かどづくり事業費			2,000	2,000	2,014	道路沿線を通過する観光客及び地域住民	美しい長崎県づくり推進のために、長崎市及び佐世保市の玄関口にあたる道路沿線に整備した緑地の維持管理を行った。	活動指標	緑地箇所数(箇所)	2	2	100%	年間を通じ、適切な道路沿線緑地の維持管理業務が図られた。		
自然環境課			1,365	1,365	2,016			成果指標	管理上の苦情件数(件)	0	0	100%			
自然公園標識設置費			756	756	1,208	県内の優れた自然を享受する公園利用者	自然公園の適正な保護管理と利用の増進を図るため、案内板・解説板・指導標等を設置した。	活動指標	自然公園標識設置数(箇所)	1	2	200%	公園内の希少野生動植物に関する標識を設置し、利用者に対して有益な自然情報の提供を行うことができた。		
自然環境課			842	842	1,613			成果指標	自然公園利用者数(千人)	13,700	14,525	106%			
										14,512	—	—			

取組項目 iii	自然ふれあい情報強化事業	H27-28	3,441	3,441	5,639	自然公園に対する興味が高い中高年層及び外国人	中高年層、韓国・欧米人をメインターゲットとして、世界遺産構成資産や温泉などの興味地点に加え、トレッキングに適した九州自然歩道のルートマップなどの総合的な自然情報を作成するとともに、HPの充実を図り、利用者に詳細な情報提供を行った。	活動指標	情報媒体制作数(件)	1	1	100%	九州自然歩道ルートマップを作成し、利用者に適切な情報提供を行うことができた。	○
	自然環境課		3,100	3,100	5,646			成果指標	ホームページアクセス数(件)	—	9,571	—		
取組項目 iv	緑といきもの賑わい事業	自然環境課	24,173	0	5,639	市町、NPO等民間団体	長崎県生物多様性保全戦略に基づいた各種保全対策を推進するため、従来の緑化事業に加え、保全地域等の保全事業や希少野生動植物の保護増殖等に民間団体等とともに取り組んだ。	活動指標	補助団体数(団体)	5	8	160%	市街地における緑地が増加するとともに希少野生動植物の保全に貢献することができた。	○
	自然環境課		15,054	0	5,646			成果指標	緑化事業実施箇所数(箇所)	6	10	166%		
	自然に親しむ運動推進費	自然環境課	438	438	2,820	地域の自然に関心がある者	国立・国定・県立自然公園などのすぐれた自然景観や希少野生動植物の生息生育環境、身近なふるさとの自然環境を保全・再生するとともに、観光等の地域振興に活用できる人材を育成するため、五島と島原において実施し、地域の自然のすばらしさを理解する場を提供した。	活動指標	新規アクティビティ実施数(回)	—	—	—	幅広い年齢層の参加者に興味を持ってもらうことができ、将来の地域ガイド予備軍の発掘・育成にもつながった。	
	自然環境課		1,049	1,049	2,016			成果指標	参加者満足度(%)	80	100	125%		

### 3. 検証及び問題点の抽出

#### 【課題解決に向けて取り組んだ事務事業の実績の検証】

i) 自然公園施設等の計画的整備の推進に関しては、公園利用者が訪れた公園内において自然環境の魅力を十分享受し、かつ快適で安全に利用できるか公園全体の基礎的な部分の視点に立って公園計画の検討を行い、自然環境整備交付金等を活用し、効果的・効率的に整備を行い、対象となる公園が有する豊かな自然環境とふれあえる公園施設づくりを推進している。

ii) 人にやさしい施設への対応に関しては、老朽化した施設の破損等により公園利用者の快適で安全な公園施設利用を阻害することがないよう、それぞれの施設に応じた維持管理を行うとともに、公衆便所や園路のバリアフリー化や標識等の多言語化を行い、快適な公園利用を促進している。今後も計画的な維持管理を行うとともに、補修が発生した場合は早急な対応を行っていく必要がある。

iii) 多様なニーズに対応した自然体験情報の発信に関しては、九州自然歩道のルートマップの内容を最新情報に更新し、利用者に対して適切な情報提供を行った。

iv) エコツーリズムの推進と地域資源を活かした商品・サービスの提供に関しては、エコツーリズムを推進するための必要な人材育成事業を実施するとともに、地域資源の保全等に取り組む民間団体や市町等の多様な主体に対する補助を行った。



#### 4. 29年度実施に向けた方向性

【問題点解決に向けた方向性】	【個別事務事業の見直し】			見直し区分
	事務事業名	事業構築の視点	見直しの方向	
i) 自然公園施設等の計画的整備の推進 少子高齢化の進行や個人の価値観の変化、インバウンド対策等社会のニーズに的確に対応し、効果的、効率的に事業を実施していくため適時公園計画の検討を行い、計画的に整備を推進していく。	自然公園計画検討費	—	国立公園・県立自然公園は、自然公園としての資質を維持するために保護と利用を計画的に実施する必要があり、今後も本事業を継続し定期的に区域内外の自然環境の変化や区域線の明確化、利用形態の変化等を検討していく必要がある。	現状維持
	自然公園等総合整備事業	⑧	多様化する社会のニーズに対応し利用者が快適に公園を利用できるように、今後も本事業を継続する必要があるが、国立公園の整備については新たな国の制度を活用し公共事業として実施することとし、本事業では国の制度の対象外となる箇所を整備していく。	縮小
ii) 人にやさしい施設への対応 利用者にとって施設を安全かつ快適に利用するため適切に維持管理するとともに、不具合等が発生すれば迅速に対応する必要がある。今後も引き続き維持管理事業を継続するとともに、バリアフリー化を促進する整備について検討していく。	自然公園維持管理費	—	利用者の安全性や快適性を確保するため、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
	自然公園施設補修費	—	老朽化した施設の損傷や不具合により利用者の安全性が損なわれないよう、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
	雲仙公園維持管理費	—	雲仙公園利用者の安全性や快適性を確保するため、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
	宝原道路維持管理費	—	宝原道路利用者の安全性を確保するため、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
	花のある街かどづくり事業	③	より効率的な管理運営方法を行うため維持管理業務の内容を見直し改善を図る。	改善
	自然公園標識設置費	—	利用者の利便性や快適性を確保するため、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
	iii) 多様なニーズに対応した自然体験情報の発信 多様化する社会のニーズに対応し、公園利用者の増加に寄与するため利用者にとって有益かつ公園の魅力を発信していく事業を、今後も引き続き検討していく。	自然ふれあい情報強化事業	②⑧	多様化する社会のニーズに対応し、自然公園等の魅力を利用者が十分満喫できるように国の施策と連動し、新たな視点で効率的・効果的に次年度予算要求に反映させる。
iv) エコツーリズムの推進と地域資源を活かした商品・サービスの提供 地域振興のためエコツーリズムの推進は有効であり、今後も地域の自然資源を活用した事業について検討していく。	緑といきもの賑わい事業	—	豊かな生活空間確保・地球温暖化防止のための緑化事業及び生物多様性の保全は今後益々重要な環境問題であり、今後も本事業を継続する必要がある。	現状維持
	自然に親しむ運動推進費	②	エコツーリズムは持続的な地域活性化のために有効な手段となっているが、地域の自然資源を十分に活用できていないケースもあるため、より一層推進していくために事業の内容を見直し改善を図る。	改善